

関係者各位



日本大学ビジネスプランコンテスト実行委員会  
審査管理部

## NUBIZ 二次審査 ホワイトペーパー 概要版

### 1 概要

日本大学ビジネスプランコンテスト（日大ビジコン）では、審査の透明性を担保するため「審査員の公表」「審査基準の明示」「公平性ある審査」を掲げています。この資料では、その中でも特に大切な「公平性のある審査」をどのように実現しているかを紹介します。

### 2 目的

多くの応募が集まると、全ての審査員が全員分のプランを審査することは難しくなります。そこで、いくつかのグループ（審査ブロック）に分け、各審査員が約10件ずつ担当する仕組みを採用しています。しかしながら、この方法では、

- 全ての応募が同じ審査員によって審査されない
- 審査員ごとの点数の付け方の厳しさが異なる

といった理由から、どうしても点数にばらつきが生まれる可能性があります。この点数のばらつきは応募者にとって不公平感を生む原因となります。例えば、

- 全ての応募者に対して厳しい評価をする審査員
- いつも優しい審査をする審査員

がいると、応募者の実力よりも審査員の点数の付け方が審査結果に影響を及ぼしてしまうことがあります。

この問題を解消するため、私たち日大ビジコンではAIによる統計的な得点補正を導入し、審査員の厳しさを取り除いた状態での公平なスコアを算出します。

### 3 公平性を追求すべき理由

ビジコンは、まだ市場に出ていない「未来のビジネスの可能性」を評価する場です。まだローンチしていないビジネスの可能性を評価する以上、曖昧な評価基準や公平性に欠けた審査環境を排除することが、ビジコンの審査運営をする立場に課せられた重大な役割であると私たちは考えています。審査の公平さの追求は、応募者の努力を正しく評価し次の挑戦を支えるための土壌づくりです。

### 4 公平性を実現するAIモデル

審査結果として審査員が審査した点数をそのまま使うのではなく、審査員の厳しさ学習して補正を行います。例えば、

- 厳しい評価をする審査員：その人がつける点数が全体的に低い → 点数を上げて補正
- 優しい評価をする審査員：その人がつける点数が全体的に高い → 点数を下げて補正

のようなイメージです（単に平均の高低による補正ではありません）。本稿では数学的な記述は省略していますが、「全員が同じ物差しで採点したときの応募者の点数はどうなるか？」を再現するのがこのAIです。

以上